

教育行政方針

根室市の教育は「心豊かな人と文化をはぐくむまちづくり」を実現するため、生涯学習社会の構築を目指します。

このため「市民の学びを高める生涯学習の振興」「社会を生き抜く力を育む学校教育活動の充実」を基本として、市民の信頼と期待に応える教育行政を推進します。

一 市民の学びを高める生涯学習の振興

子どもから大人まで市民の誰もが、学びたいことを学べるよう学習活動の支援を図るとともに、地域全体で子どもを育てる活動を展開します。

その主要な事業として「ねむろわんぱくチャレンジ」事業をより充実し子どもたちの生きる力を育むほか、本年度スタートとなる「子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちが自主的な読書活動を行える環境づくりに努めます。

また、子どもたちに「ふるさと根室」についての理解を含め、郷土を愛する思いを育むため、根室市の歴史や文化についての学習を深めます。さらに、社会教育計画の重

ては、市民一人ひとりが生涯にわたって気軽にスポーツを楽しむ、心身ともに健康で充実した生活を営むことが出来る、生涯スポーツ社会の実現に向け取り組みます。

二 社会を生き抜く力を育む学校教育活動の充実

本年4月の歯舞小学校開校により、教育環境の整備を地域の方々と共に進めるとともに、教育環境の整備充実により教育効果を高めていきます。

また、引き続き耐震化の取り組みを進めるほか、老朽化の著しい厚床小学校の改築に向け実施設計を行います。

「根室市確かな学力向上に関する取組方針」では、家庭・学校・行政の役割を明確にし、保護者の理解を得て日常的な学力向上の取組を進めるものであり、三年目となる本年度は「発展」と位置付け、各種の取組を行うほか、これまでの検証を行い、次期の取組方針の策定を進めます。

昨年度から配置した、市単独による「学力向上補助教員」を小学校にも拡充配置するほか、9年間を通して子どもたちを育てるため、小中学校の教師間交流や出前授業など小

中連携を強化する具体的な実践を行います。

また、新たに根室版「チャレンジテスト」を作成し活用を図るほか、市内で統一した学力調査を実施し学力の把握と改善を目指します。

「いじめ」や「不登校」については、適応指導教室の活用や多様な相談窓口の利用を図るほか、関係機関との連携を深め「児童虐待」や「体罰」への早期発見・早期対応に努めます。

また、ふるさと根室を知り郷土愛を育むため、社会科副読本の編集作業を進めるほか、北方領土返還要求運動原点の地として北方領土学習への取組みを全学校で積極的に進めます。

特別支援教育は、年々対象児童生徒数も増加し、その充実が大きな課題であることから、校内委員会機能の充実や特別支援

コーディネーターの活用を図るとともに、根室市としての「個別の教育支援計画」の策定に向け、関係機関・団体等



による組織を設置し検討を行います。

また、引き続き特別支援教育支援員を配置するほか、市民の理解を深めるための市民向け研修会を拡充するなど、支援体制の整備を図りながら障がいのある子どもたちへの適切な指導と支援に努めます。